パクパク通信

平成２３年 ５ 月２０日
多摩市立豊ヶ丘小学校
学校長　小林　佳世
栄養教諭　早乙女　理恵
No.　４

５月１０日、４年生が社会科の「ごみのゆくえ」の単元のまとめとして、給食の残菜がどのように処理されるのか、またその量はどのくらいなのかについて学習しました。

4年生　社会科「ごみのゆくえ」

この授業は市内のほかの小学校でも行っています。たくさんの写真を使い、クイズ形式で話を進めていくので、パワーポイントを使って授業を行いました。この日のために、５月６日の豊ヶ丘小学校すべての給食の残菜を、配膳室でまとめて計量しました。さて、いったいどのくらいの残菜が出たでしょうか？ちなみにこの日の給食のメニューは**「グリンピースご飯・麦茶・シルバーのごまみそかけ・即席漬け・キャベツの味噌汁・柏餅」**の端午の節句の行事食でした！

魚１．７ｋｇ（約１７匹）
タレがかかっていたから
いつもより食べています

豆は苦手かな？
**グリンピース
ご飯
１３．４ｋｇ**

**キャベツのみそしる
１３．４ｋｇ**
水分量も含みますが、
おいしかったのに・・

**即席漬け
１３．４ｋｇ**

合計　24．1kg

いつもは残菜が少ない豊ヶ丘小学校ですが、子どもたちに人気のないグリンピースご飯はいつにも増してたくさん残っていました。そしてなぜか味噌汁も・・・ひとつの食缶に納まらないほどでした。豊ヶ丘小は約２９５名。そうすると１人約８０ｇ残したことになります。わずかみかん１個ほどの重さですが、「ちりも積もれば山となる」です。そして全部で１３校の給食を作っている南野調理所に、同じ量の残菜が戻ってくるとすると・・・３１２ｋｇにもなるんだよ。これをみた調理員さんはどんな風に思うかな？と話を進めます。

平成２１年度の多摩市全体の給食の残菜量はなんと<u>９５トン</u>です。しかし多摩市の家庭から出る可燃ごみの量は<u>２２，３８４トン</u>にもなりました。そうすると給食残菜の全体に占める割合は０．４％です。そして調理所には生ゴミ処理機が導入されたため、エコプラザで処理する費用はなくなりました。

生ゴミ粉砕処理機

それでも維持費や光熱費、処理するために必要なもみ殻などの経費が、南野調理所のみでも年間４７万円かかりました。

給食の残菜を減らすために、そして家庭のごみを減らすために、自分たちはいったい何ができるだろうか？児童は真剣に考え始めました。

「もったいない」の声が聞こえる？

上の写真は、家庭ごみから出た「手付かず食品」です。日本では１年間にでる手付かず食品は、なんと**700万トン**にも上るそうです。それは３食のうち、１食は捨てている計算になり、金額にすると**約11兆円**にも上るそうです。私たちは農家の方や漁師さん、酪農家の方たちが汗水流して育てたり、獲ったりしたものを、こんなにも無駄に捨てているのです。「もったいない」という日本にしかない言葉は、忘れられてしまったのでしょうか？

最後に３つの数字クイズを出しました。

６５７万人・・・これは昨年１年間、地球上で食べ物が食べられずになくなった、５歳未満の子どもの数です。

３．６秒・・・３．６秒に１人、今も子どもが食べ物が食べられず、空腹で亡なっているのです。

約８億人・・・現在、地球上で、食べ物が無くて苦しんでいる人の数です。

ここで授業は終了です。この後、給食や家庭のごみを減らす方法を考えました。そしてワークシートを持ち帰り、きょうの授業をおうちの方に説明し、自分でできることは何か？またおうちの方と一緒にごみを減らす方法はないかを考えてもらい、コメントもいただきました。一部を紹介します。

◎ちゃんと作ってくれた人の気持ちを分かって、ちゃんと残さず食べること。（Ａさん）*なるべく残さず食べさせたいけども、ムリに食べさせるのも辛いです。でも、あの震災から「食べられない子や、食べたくても食べ物がない国もあるんだから、ちゃんと食べて」と一言いうと、食べてくれるようになった。本当に豊かな国に感謝です。（保護者）*

◎給食は残さず食べる。ひつような物だけ買う。（ムダに買わない）（Ｂさん）*給食を残すことについて、栄養面からだけでなく、残菜にかかるお金や、世界の子どもたちのことからも考えてみるのはとても良いことだと思います。（保護者）*

◎残さずごはんを食べる。手つかずをしない。かいだめをしない。電機やガスや水をむだにつかわない。（Ｃくん）*今回、勉強したことを聞かされ、親子で食べ残しを減らす、買いだめをしないなど話し合いました。（保護者）*

◎ぼくはもっとものを大切にして、食べ物をありがたく食べようと思った。（Ｄくん）*家庭でも残菜を減らす工夫をしようと思いました。（保護者）*

◎今日の話を聞いて、地球の中で食べ物を食べられない人が多い。自分にできることは、ごはんを残さないで食べる。（Ｅくん）*大きな数字でびっくりしました。家でも調理法など考えていきたいと思いました。（保護者）*